

美しいまちなみ大賞

くらしのうつくしき

倉吉市打吹地区

所在地 鳥取県倉吉市
地区面積 約150ha
応募者 打吹地区歩行ネットワークを
考える会
倉吉市

<地区の概要>

倉吉市の中心市街地に位置する打吹地区は、かつて栄えた明治・大正時代の商家のまちなみを残し、その一部が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

こうした歴史的まちなみ環境の保全・修復とともに、第三セクター「赤瓦」による歴史的建物の利活用等が進められ、また道路にはカラー舗装、案内板、ストリートファニチャー等を設置するなど、観光客に楽しんでもらえる空間づくりが実施され、観光客も増加している。

地元の各種団体等が集まって組織された「打吹地区歩行ネットワークを考える会」を中心に、来訪者がまちを歩いて楽しめるようカラー舗装化、案内板の設置、ストリートファニチャーの整備等が推進されて



▲主屋は連続する3棟の建物からなっていて、西側の棟は明治初期で、東側の棟は大正初期の建築物である。現在も醤油の醸造、販売所として使用。



▲明治中期頃の建立と推定される江戸期の形式から本二階建てへと変化していく、当時の町屋建築である。現在酒販店として使用されており、隣の土蔵は「赤瓦三号館」として利用される。



▲土蔵群に平行して玉川が流れる。右側は赤瓦一号館。



▲明治14年に国立第三銀行倉吉支店として建てられた擬洋風建築。幾つかの金融機関を経て、昭和38年までは山陽合同銀行として使われていた。(国登録有形文化財)



▲大正初期に米屋として建築された建物。倉吉の町屋に共通する平入り瓦葺き二階建てで、外観は質素な造りだが内部は素晴らしい。特に中の間に設けられた渡り廊下の空間構成に贅沢さを



▲往時の面影をとりもどした玉川沿いの風景。